

09. 大きな石灯籠が二つに割れました

小川睦子 80歳 無職 文京区在住

- どこに誰といましたか。

鉄筋9階建マンション2階の自宅に、1人でいました。同じマンションに娘夫婦と孫娘が住んでいます。いつもは外に出ていることが多いのに、この日はたまたま在宅していました。大きな揺れが来たので、すぐに娘の所へ行こうと1階のロビーへ降りたら、巨大なロビーのガラスに大きなヒビが入っているのでびっくりしました。娘のところは、いつもはこの時間留守なのに、学校の個人面談のために娘と小学校6年の孫娘が在宅しておりました。3人で、揺れる度にテーブルの下にもぐりました。揺れるときは、ものすごい物音がしました。

このマンションは1970年の建築で、以前から耐震が問題になっていました。でも、耐震基準を満たすためにどれくらいの費用がかかるかを調べるだけで、数百万円かかるということ。さらに、耐震基準は関東大震災程度であったそうですが、それでいいのかは今や問題になります。88世帯の居住者は、今となると配偶者を亡くした独り暮らしが多いので、耐震工事問題もなかなか前へ進みません。

- 何か被害がありましたか。

マンションの庭に大きな石灯籠がありましたが、これが倒れて割れてしまいました。ところが、これを捨てるには規則により、小さく砕かなければならないそうで、その作業をする費用を考えたらず修理して使った方が安いそうです。しかしまだ、手がつけれれていません。そのほか、室内は、日ごろから地震を考えていたので何も壊れたり倒れたりしたものはありませんでした。このマンションでも、上層階にいる高齢の居住者は、エレベーターが使えず大変困ったそうです。

- 最後にひとこと。

私は仙台に生まれ小学校に入りました。そのあと弘前に移り、中学を含め7年間ほどいて東京に来ました。東北には親戚・知人が多く、野球は楽天、サッカーは仙台を応援します。マスメディアで見る被災地の人たちは、精一杯、明るく健気に振る舞っているように思えます。

2011年6月20日